学校番号	３０１３

令和８年度　工業科（機械系）

教科	工業	科目	(学)デュアルシステム	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	実習日誌						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・企業実習は毎週１日実施し、この選択科目３時間と課題研究３時間の計６時間で実施します。
・実習期間は１年間としており、前期は４月～６月、後期は 10 月～12 月で実施します。
・生徒は希望する企業を選択し、調整の結果、実施企業を決定します。
・１社の人数は２人を原則とし、参加する全生徒数は 40 人程度とします。
・10 月に中間報告会、2 月に成果報告会を行い、実習期間以外の日程はその準備をします。
・実習日程の中で企業の都合で実習が不可の日なども学校で報告会の準備をします。
・目標設定シートを作成し、各学期でふりかえりを行い以降の取り組みに反映する。
・実習後は毎回日誌を記入し、フォームからふりかえりシートの提出もします。
・示された実習をこなすだけでなく、課題意識を持ち、積極的に取り組んでください。目的を持った参加が大前提です。
・社会に出るために自分に必要な力を意識し、伸ばせるように工夫して取り組みましょう。
・成果報告会では成果を発表できるように、実習内容の理解を深め、自己評価を高めてください。
・企業実習、成果報告の取り組みの中で、課題の発見、解決を繰り返し、自らの成長という大きな課題を解決してください。

2　学習の到達目標

・実社会での就労において、技術、技能を高めるとともに、集団の中での役割を認識し、その職務を担える人材となることをめざし、現場での実践的な力を身に付けることを目標とします。
・企業様の事業内容や取組みについて理解を深めるとともに、本校の学校生活で身に付けた専門分野の知識、技術・技能を、実際の生産現場で活用する体験を通して、応用する力や思考力の向上をめざします。
・社会人としてのマナー、コミュニケーション能力等の向上をめざします。
・成果報告会の発表で、まとめる力、資料作成能力、伝える力の向上をめざします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	企業実習において企業の事業内容の理解、各部署の業務内容の理解、経験した実習内容の理解ができている。また、教わった業務の知識、経験した実習の技能を身につけている。 成果報告に向けて、実習で得た知識・技能を整理してまとめることができる。	企業の業務に興味関心・疑問を持ち、的確に質問することができる。 教わった業務の上達・熟練をめざし、工夫して取り組む力を身につけている。 教わった技能や仕事に対する考え方などを他でも生かせる場面を判断することができる。	企業実習に対して目的を設定し、実習内容から課題を考え関連付け、解決できる。 自らの伸ばしたい力を常に意識し、積極的に取り組むことができる。 探究の意欲を持って、自発的に取り組み、技術・技能とともに人間性を高めることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	企業実習【前期】	事前指導 企業研究 企業実習【前期】7回	a: 企業実習において企業の事業内容の理解、各部署の業務内容の理解、経験した実習内容の理解ができている。また、教わった業務の知識、経験した実習の技能を身につけている。 成果報告に向けて、実習で得た知識・技能を整理してまとめることができる。 b: 企業の業務に興味関心・疑問を持ち、的確に質問することができる。 教わった業務の上達・熟練をめざし、工夫して取り組む力を身につけている。 教わった技能や仕事に対する考え方などを他でも生かせる場面を判断することができる。 c: 企業実習に対して目的を設定し、実習内容から課題を考え関連付け、解決できる。 自らの伸ばしたい力を常に意識し、積極的に取り組むことができる。 探究の意欲を持って、自発的に取り組み、技術・技能とともに人間性を高めることができる。	企業研究 目標設定シート 実習日誌 振り返りシート	企業研究 目標設定シート 実習日誌 振り返りシート	企業研究 目標設定シート 実習日誌 振り返りシート 教員による企業訪問
2学期	企業実習【後期】	中間報告会に向けて資料準備 発表練習 中間報告会 (校内の参加者のみで相互視聴) 企業実習【後期】6回	a: 企業実習において企業の事業内容の理解、各部署の業務内容の理解、経験した実習内容の理解ができている。また、教わった業務の知識、経験した実習の技能を身につけている。 成果報告に向けて、実習で得た知識・技能を整理してまとめることができる。 b: 企業の業務に興味関心・疑問を持ち、的確に質問することができる。 教わった業務の上達・熟練をめざし、工夫して取り組む力を身につけている。 教わった技能や仕事に対する考え方などを他でも生かせる場面を判断することができる。 c: 企業実習に対して目的を設定し、実習内容から課題を考え関連付け、解決できる。 自らの伸ばしたい力を常に意識し、積極的に取り組むことができる。 探究の意欲を持って、自発的に取り組み、技術・技能とともに人間性を高めることができる。	目標設定シート 実習日誌 振り返りシート 発表準備 発表資料	目標設定シート 実習日誌 振り返りシート 発表準備 発表資料	目標設定シート 実習日誌 振り返りシート 発表準備 教員による企業訪問

3学期	成果報告	成果報告会に向けて資料準備 発表練習 成果報告会 （協力企業の方に向けて成果報告）	a: 企業実習において企業の事業内容の理解、各部署の業務内容の理解、経験した実習内容の理解ができている。また、教わった業務の知識、経験した実習の技能を身につけている。 成果報告に向けて、実習で得た知識・技能を整理してまとめることができる。 b: 企業の業務に興味関心・疑問を持ち、的確に質問することができる。 教わった業務の上達・熟練をめざし、工夫して取り組む力を身につけている。 教わった技能や仕事に対する考え方などを他でも生かせる場面を判断することができる。 c: 企業実習に対して目的を設定し、実習内容から課題を考え関連付け、解決できる。 自らの伸ばしたい力を常に意識し、積極的に取り組むことができる。 探究の意欲を持って、自発的に取り組み、技術・技能とともに人間性を高めることができる。	目標設定シート 実習日誌 振り返りシート 発表準備 発表資料	目標設定シート 実習日誌 振り返りシート 発表準備 発表資料	目標設定シート 実習日誌 振り返りシート 発表準備 教員による企業訪問

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度